

創業者出身地への学生派遣プログラム 2013 成果報告会

明治大学社会連携機構では、創業者出身3地域で、地域の人々と交流・連携しながら地域活性化への政策提言を行う課題解決型プログラム「創業者出身地への学生派遣プログラム2013」を実施しています。

このプログラムで学生たちが考案した政策提言を3地域合同のコンペティション形式で発表する成果報告会を10月20日(日)明治大学ホームカミングデー会場内にて開催しました。会場には、鳥取県地域振興部長・多田治樹様、山形県天童市副市長・鈴木周宏様及び福井県鯖江市長・牧野百男様をはじめ、自治体関係者もお招きしており、各地域に滞在中お世話になった方々を前に学生たちの発表にも一層の熱が入りました。全チームの発表後には審査委員会を開催し、全12チームの中から各賞を選出しました(別頁「審査結果」参照)。



最優秀賞にあたる「学長賞」には、寄付者に天童市の特産品を送付する等の特典と共に、災害発生時には避難先として一定期間市内の住居を提供するという新たな「ふるさと納税制度」を提案した天童1班(チーム名:第2のふるさと天童)が選出されました。この提言に対しては、天童市副市長・鈴木様から、「内外に開かれた新しい制度であり、来年度から実施すべく整理をしている」との高い評価を受けました。

閉会に際しては、福宮学長から「地域」として田舎だと思ってしまうかもしれないが、自分自身が生活をする場、それが「地域」である。みなさんが訪問した「地域」もそこに生活をし、仕事をし、子供を育てる人がいる。自分の「地域」とは違う「地域」に出かけて行ったときに、その人たちとふれあい、その人たちを知ること、そのまなざしを学ぶということはすごく大事である。グローバル化した社会の中で、これからみなさんは日本ばかりでなくて、世界中のあらゆるところに出ていくことがあると思うが、そのときのベースとなるのは今回みなさんが経験した「地域」の方たちとのふれあいであり、それは世界中で通用することだと思う」とプログラムに参加した学生たちへのメッセージが述べられました。



創業者出身地への学生派遣プログラム 2013 成果報告会 次第

1 開会の挨拶 明治大学副学長・社会連携機構長 藤江昌嗣

2 最終成果報告

(1) 鳥取県鳥取市

【鹿野町】

- ・B班 しかのAKIYA計画 「シカノワ～空き家を活用した鹿野町の教育・子育て支援～」
- ・D班 こようよ！とっとり 「移住促進宿泊型体験プログラム」
- ・鳥取環境大学 TUES 「食による鹿野活性化」

【佐治町】

- ・A班 SAJEST 「ONE SPOON PROJECT」
- ・C班 とっとりリズム 「Retraction」

(2) 山形県天童市

- ・1班 第2のふるさと天童 「あなたの第2のふるさとに天童が立候補します」
- ・2班 ハートあふれる街「天童」
「ハートあふれる街「天童」～婚活イベント・婚活ツアーによる観光誘客～」
- ・3班 がんばっぺ天童 「学生農業サミット@天童」

(3) 福井県鯖江市

- ・A班 地方の力 「鯖江学園～過去と未来へのタイムスリップ～」
- ・B班 人・人・人 「地産レストラン「さばえ農場」&早映えつつじロード」
- ・C班 鯖笑（鯖江の笑顔） 「また会いに行きますツアー」
- ・D班 SABAYELL! 「サバエステイ化計画! ～「対流」人口創出に向けて～」

3 休憩（審査）

4 講評

(1) 鳥取県地域振興部長 多田治樹様

(2) 天童市副市長 鈴木周宏様

(3) 鯖江市長 牧野百男様

5 審査発表・表彰

6 閉会の辞 明治大学長 福宮賢一

以 上